

『林業経済』編集委員会（50音順）

山本 伸幸（編集委員長）	興梠 克久（副委員長）	原 研二（副委員長）			
石崎 涼子	市川 隆史	小川三四郎	柴崎 茂光	関岡 東生	関 良基
竹本 太郎	立花 敏	寺内 大左	早瀬 悟史	三木 敦朗	山本 美穂
事務局					
土屋 俊幸（所長）	大西 純（事務員）				

《編集後記》

【ふらふら所長の周辺探検 第14回】5月号に前回の探検記を掲載してから、事務所移転もあり、半年ぶりのコラムとなる。現事務所の最寄りの鉄道駅は地下鉄東京メトロ南北線東大前駅だが、二番目の駅は都営地下鉄三田線白山駅になる。急いで歩けば10分ほどであり、実は筆者は、事務所への通勤にこの駅を利用している。この駅の地上の出入口には「白山上」と「白山下」がある。事務所への近道は、「白山下」に出て、そこから浄心寺坂の急坂を登り、本郷台の尾根に出て、国道17号（旧中山道）を事務所に向かう道だ。この坂の途中には、歌舞伎、文楽などの題材となった「八百屋お七」の墓があるが、この話はまたの機会に。一方、「白山下」から「白山上」までの沿道も結構な坂なのだが、すぐ近くに東洋大学の白山キャンパスがあることもあって、飲食店を中心に多くの店が並んでいる。その店並みを少し脇道に入ると、急に辺りが静かになる。そこに大きく聳えているのが白山神社の鳥居だ。鳥居から石段を数段登った先の境内はそれほど広くはないが、木立に覆われてしんとしている。

白山という地名はこの白山神社または白山権現に由来している。文京区となる前、この辺りを含む区の西半分は小石川区だったが、ここでの「石

川」は、白山神社の総本社白山比咩（しらやまひめ）神社のある石川県あるいはその呼称のもととなった石川郡に因んでいるという説がネット等では見られるが、小石川村は江戸時代から存在しており、俗説のようだ。白山神社は、石川県、岐阜県、福井県に跨る名峰白山を祀る、歴史を持った神社で、中部地方から関東地方を中心に、一説には2,700社と言われる多くの末社が存在する。白山は修験道の一大靈場でもあり、修験と結びついた白山信仰は大きな影響力を庶民に与えた。江戸時代には、いわゆる白山詣で加賀、美濃、越前からの禅定道は参詣者で賑わった。

境内でひときわ目立つ石碑がある。碑文には「孫文先生座石」とあり、孫文のレリーフ像がはめ込まれている。当時孫文は日本に滞在し、辛亥革命直前の状況下で革命運動を指揮していた。1910年のある夜、支援者であった宮崎滔天宅近くの白山神社のこの石に座し、滔天（その息子という説あり）と中国の将来について語り合い、夜空に輝いていた流星に革命の成就を誓った。ちょうどこの年の5月下旬にはハレー彗星が地球に最接近しており、「流星」は確かに革命を誓うのにふさわしい明るさだったと思われる。

（土屋）

研究所業務日誌（2025年10月）

10月 8日	第4回編集委員会
10月 9日	森林サービス産業第1回調査委員会 (於向丘地域活動センター)
10月 11日	令和7年度（公社）国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」助成シンポジウム（於東京大学）

10月 20日	「林業経済」10月号校了
10月 29日	第3回理事会（みなし理事会）

林業経済（月刊）

〈禁無断転載〉

定価 880円
(本体価格 800円)

編集発行人 永田 信

発行所 一般財団法人 林業経済研究所

〒113-0023 東京都文京区向丘1-5-1 向丘ビル1F

電話 03-6379-5015 FAX 03-6379-3210

E-mail : office@foeri.org URL : <https://www.foeri.org/>

☆本誌は予約購読を原則とします。購読ご希望の方は直接、当研究所までお申し込みください。

1年 10,560円（送料込）（本体 9,600円、消費税 960円）

学生および院生は1年 5,500円（本体 5,000円、消費税 500円）になります。

購読料の振込先

口座名義人：一般財団法人 林業経済研究所

銀行の場合：三菱UFJ銀行 秋葉原支店

普通預金口座 4560904

郵便局の場合：振替口座 00110-1-147629

印刷 株式会社ソウブン・ドットコム 東京都荒川区西尾久7-12-16